

# 五戸町津波ハザードマップ

## 津波基準水位

- 浸水深10.0m以上20.0m未満
- 浸水深5.0m以上10.0m未満
- 浸水深3.0m以上5.0m未満
- 浸水深1.0m以上3.0m未満
- 浸水深0.3m以上1.0m未満
- 浸水深0.01m以上0.3m未満

## 指定避難所

- 青文字で名称を表示
- 指定緊急避難場所
- 赤文字で名称を表示
- その他の避難所
- 緑文字で名称を表示

## 避難所及び緊急避難場所

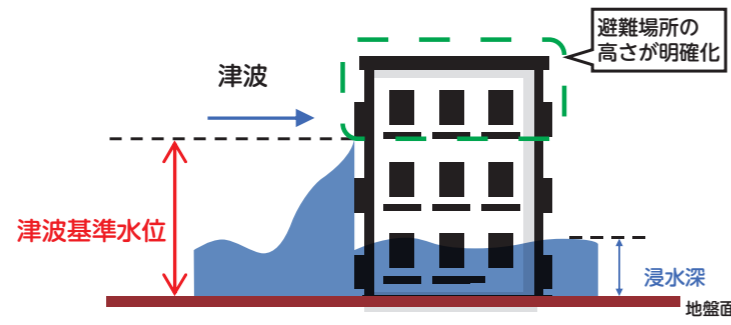
施設名	住所
上市川小学校	大字上市川字御兵糧3
上市川団地集会所	大字上市川字外ノ沢250
石呑生活館付近	大字上市川字鳩岡平66-292
上市川小学校グラウンド	大字上市川字御兵糧3
上市川団地オンコ公園	大字上市川字外ノ沢249
石呑生活館	大字上市川字鳩岡平66-292

## 緊急時の連絡先

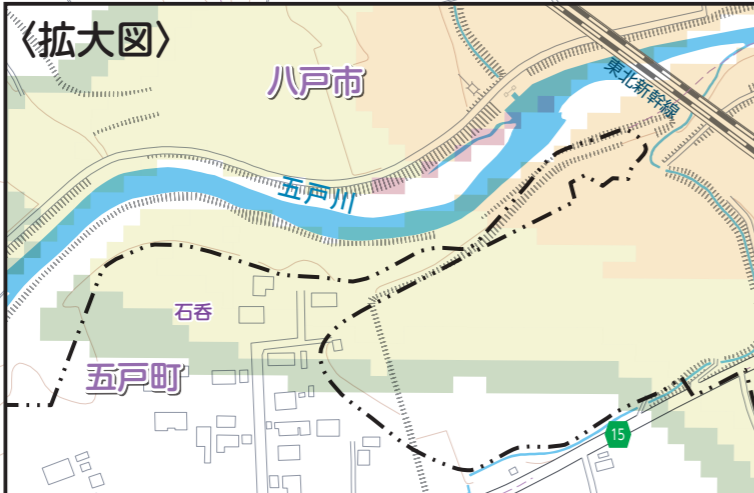
五戸町役場	0178-62-2111(代)
防災行政無線電話応答システム	0178-61-1106
五戸消防署	0178-62-3140
五戸警察署	0178-62-3241

- ・地震の強い揺れや弱くても長い揺れを感じたり、津波警報が発表されたら、ただちにより高い場所を目指して急いで避難しましょう。
- ・津波は長い時間くり返し襲ってきます。津波警報・注意報が解除されるまでは、避難を続けましょう。
- ・日頃からいろいろな場合を考えて、非常持出品の準備、避難経路、いざという時の行動を周りの人と話し合っておきましょう。

## 津波基準水位(せり上がり浸水深)について



津波基準水位とは、津波が建物等に衝突した際の、せり上がりの高さを加えた水位のことをいいます。津波浸水想定における浸水深と同様に、地盤面からの高さ(水深)で表示されます。津波基準水位を用いることにより、避難場所等の建物の安全な高さが明確化されます。津波ハザードマップでは、津波による浸水の深さは津波基準水位にて表しています。



## ハザードマップ作成の目的について

東日本大震災による津波の甚大な被害を受け、避難を中心とした津波防災地域づくりを進めるため、青森県は最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域と水深(浸水深)をもとに、令和3年5月に新たな津波浸水想定を設定しました。このハザードマップは、五戸町において想定される津波浸水区域と浸水深、避難場所等を示した地図です。津波が発生した時の避難所や避難場所までの経路を確認し、災害に備えてください。



## 国や県から提供される防災気象情報、避難情報※1

警戒レベル	状況	住民に求める行動	避難情報	防災気象情報
5	災害発生 または切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保※2	大雨特別警報 氾濫発生情報
<b>&lt;警戒レベル4までに必ず避難!&gt;</b>				
4	災害のおそれ 高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	土砂災害 警戒情報 氾濫危険情報
3	災害のおそれ あり	危険な場所から 高齢者等は避難※3	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認		大雨・洪水・高潮注意報 気象庁が発表
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高める		早期注意情報 気象庁が発表

- ※1 必ずしもこの順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。  
 ※2 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。  
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の方も、必要に応じて普段の行動を見合わせたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

津波の際は、一刻も早い避難が必要であるため「避難指示（警戒レベル4相当）」のみ発令されます。津波災害は、切迫度が段階的に上がる災害では無いので、警戒レベルを付さないこととしています。

## 津波の時はどのように行動したらいいか?

- 強い揺れや弱くても長い揺れを感じたら、また地震を体で感じなくても、「津波警報」等を見聞きしたら、いち早く海岸から離れ、可能な限り高い場所へ避難してください。
- 海水浴等により海岸付近にいる人は、「津波注意報」でも避難が必要です。海からあがる、海岸から離れるなど、すぐに避難を開始してください。
- 避難をする時は、近くの高台や津波避難タワー、津波避難ビルなどに向かってください。
- 第一波の引いた後に家に戻り第二波にのみこまれ被害に遭ったケースや、余震により再度津波が発生するケースもあります。津波警報・注意報が解除され安全が確認されるまでは決して被災地域には立ち入らないでください。
- 津波の災害から身を守るためには、日頃から津波に関する情報を収集したり、津波ハザードマップなどで家の周りの安全な避難場所を確認しておくことが必要です。
- 津波は想像を超える速さ、あるいは想像を超える場所からやってくることを認識しておきましょう。



出典：首相官邸ホームページを加工して作成

## 非常時持出品の準備&チェック

災害が発生し、避難する場合はもちろん、避難の必要がない場合でも、電気や水道、ガスなどが使用できない場合もあります。万が一の場合に備えて、家族で話し合い、災害時の非常時持出品や備蓄品を準備しておきましょう。

### 非常時持出品(例)

準備ができているか、チェック☑しましょう。

<b>携帯ラジオ</b>  ラジオ 電池(多めに用意)	<b>救急医薬品</b>  処方薬 □ 絆創膏 傷薬 □ 包帯 風邪薬 □ 胃腸薬 鎮痛剤 □ 消毒薬	<b>貴重品</b>  現金 □ 預金通帳 印鑑 □ 免許証 □ 懐中電灯 健康保険証 (出来れば一人にひとつ) マイナンバーカード □ 電池(多めに用意)	<b>懐中電灯</b>  懐中電灯 電池(多めに用意)
<b>非常食品</b> 火を通さずに食べられるもの、食器など □ カンパン □ 缶詰・レトルト食品 □ ミネラルウォーター □ 粉ミルク・離乳食 □ 缶切り・栓抜き □ 紙皿・紙コップ □ 水筒 □ 箸・スプーン等		<b>その他</b> □ ヘルメット・軍手 □ 布テープ □ ビニール袋 □ ラップフィルム □ 防寒具(時季による) □ 使い捨てカイロ等 □ タオル □ 紙おむつ □ ウェットティッシュ □ マスク □ 携帯電話充電器 □ ハザードマップ(本書)	

### 非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低3日)生活できる準備ができているか、チェック☑しましょう。

<b>飲料水</b>  □ 飲料水としてミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に) □ 貯水したポリタンクなど	<b>非常食品</b>  □ お米(アルファ米も便利) □ 缶詰・レトルト食品 □ 梅干し・調味料など □ ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)
<b>燃料</b>  □ 卓上コンロ □ ガスボンベ □ 固形燃料	<b>その他</b>  □ 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水) □ 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど □ 調理器具(なべ・やかなど) □ パケツ・各種アウトドア用品など

## 津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の表現		
<b>大津波警報</b>	10m超 (10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難タワーなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
<b>津波警報</b>	3m (1m<高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう!	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
<b>津波注意報</b>	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。

※津波警報等の発表時には、各区分の**高い方の値**を、予想される津波の高さとして発表します。  
 (※気象庁ホームページより大部分を抜粋)

## 津波警報・注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。その後「予想される津波の高さ」、「津波の到達予想時刻」等の情報を発表します。

マグニチュード8を超えるような巨大地震の場合

「巨大」という言葉を使った大津波警報で、非常事態であることを伝えます

- 巨大地震**の場合は、正しい地震の規模をすぐには把握できないため、その海域における**最大級の津波を想定して**、大津波警報や津波警報を発表します。これにより、津波の高さを小さく予想することを防ぎます。
- このとき、最初の津波警報では、予想される津波の高さを、「**巨大**」、「**高い**」という言葉で発表して**非常事態**であることを伝えます。

「巨大」という言葉を見たり聞いたりしたら、東日本大震災クラスの津波が来ると思って、ただちにより高い場所に避難しましょう!

## 津波からの避難



## 津波の特性と避難行動のポイント

<b>水辺からすぐに離れる</b> 津波注意報であっても水辺は危険。ただちに海岸や川べりから離れる。	<b>津波の速度は速い</b> 津波の速度は非常に速く、目に見えてから逃げるのでは間に合わない。	<b>避難したら戻らない</b> 到達予想時刻が過ぎたり、第一波が引いたとしても、津波警報・注意報が解除され安全が確認されるまでは避難を継続する。
<b>津波は何度も来る</b> 津波は一度だけでなく複数回襲来し、後から来る津波の方が高くなることもある。	<b>津波は場所により高くなる</b> 津波は沿岸に近づき水深が浅くなるほど、急激に高くなる。また、V字型の湾や岬の先端など、地形の影響で局所的に高くなる。	<b>津波は遠くからも来る</b> 津波は遠方の地震等によって発生することもある。日本近海の地震が伴わない津波警報・注意報にも注意する。